



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月12日

上場会社名 株式会社ハードオフコーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 2674 URL <https://www.hardoff.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役社長室長兼 経営管理本部長 (氏名) 長橋 健 TEL 0254-24-4344  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月24日 配当支払開始予定日 2026年6月25日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月23日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	39,276	17.1	3,387	5.3	3,489	2.5	2,519	8.9
2025年3月期	33,531	11.4	3,218	14.8	3,403	13.8	2,314	10.6

(注) 包括利益 2026年3月期 3,037百万円 (24.8%) 2025年3月期 2,433百万円 (△2.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	181.19	—	13.1	12.2	8.6
2025年3月期	166.52	—	13.2	14.0	9.6

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	31,600	20,330	64.0	1,453.07
2025年3月期	25,617	18,373	71.3	1,314.75

(参考) 自己資本 2026年3月期 20,216百万円 2025年3月期 18,270百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	2,465	△2,710	521	3,307
2025年3月期	2,142	△1,836	△334	3,009

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	78.00	78.00	1,083	46.8	6.2
2026年3月期	—	0.00	—	85.00	85.00	1,182	46.9	6.1
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	92.00	92.00		38.8	

(注) 2026年3月期における期末配当金については、78円から85円に変更しております。詳細については、本日(2026年5月12日)に公表しました「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,750	26.0	1,580	18.9	1,630	13.9	1,800	94.6	129.37
通期	45,700	16.4	4,050	19.6	4,100	17.5	3,300	31.0	237.19

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社エコノス

除外 1社 (社名) 株式会社ハードオフファミリー

(注) 詳細は添付資料P.20「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項」(当連結累計期間における連結範囲の重要な変更に関する注記)をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期	13,954,000株	2025年3月期	13,954,000株
----------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期	40,880株	2025年3月期	57,562株
----------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数

2026年3月期	13,903,382株	2025年3月期	13,896,722株
----------	-------------	----------	-------------

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針および当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(表示方法の変更に関する注記) .....	13
(セグメント情報等の注記) .....	14
(1株当たり情報) .....	19
(当連結累計期間における連結範囲の重要な変更に関する注記) .....	20
(企業結合等関係に関する注記) .....	21
(重要な後発事象) .....	22

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、インバウンド需要の増加や雇用・所得環境の改善により景気が緩やかに回復する一方で、アメリカの通商政策の影響や地政学的リスクの長期化、国内においては原材料価格等の高騰が継続しており、先行き不透明な状況が続いております。当社が属するリユース業界におきましては、リユースが消費者の生活に浸透し、物価高騰の影響により更に注目が集まり、リユース市場は継続的に拡大をしております。

当連結会計年度のリユース店舗の出店につきましては、直営店30店舗を新規出店、4店舗を閉店し、FC加盟店27店舗を新規出店、3店舗を閉店いたしました。また、10月に株式会社エコノスを子会社化したことにより、53店舗をFC加盟店から直営店へ移管し、ブックオフ16店舗が直営店に加わりました。以上の結果、リユース店舗数は直営店545店舗、FC加盟店は533店舗となり、合計1,078店舗となりました。

当連結会計年度末時点における各業態別の店舗数は次表のとおりであります。

(単位：店)

店舗数	ハードオフ	オフハウス	モードオフ	ガレージ オフ	ホビーオフ	リカーオフ	ブックオフ	海外	リユース 合計	ブックオン
直営店	193 (+31)	149 (+18)	13 (△2)	11 (+1)	98 (+28)	4 (±0)	65 (+17)	12 (+2)	545 (+95)	0 (△1)
FC加盟店	244 (△9)	184 (△12)	2 (±0)	5 (±0)	85 (△11)	1 (±0)	—	12 (+3)	533 (△29)	—
合計	437 (+22)	333 (+6)	15 (△2)	16 (+1)	183 (+17)	5 (±0)	65 (+17)	24 (+5)	1,078 (+66)	0 (△1)

(注) 1. ( ) 内は期中増減数を表しております。

2. 子会社の株式会社エコプラスおよび株式会社エコノスが運営する店舗は直営店に含めております。

3. 子会社の台湾海徳沃福股份有限公司およびECO TOWN USA INC. が運営する店舗は、海外直営店に含めております。

当連結会計年度の経営成績は、国内既存店売上高が4.3%増と堅調に推移し、前期にオープンした直営店24店舗及び当期にオープンした30店舗、第3四半期より連結開始した株式会社エコノス69店舗の売上高の寄与により、全社売上高は39,276百万円(前年比17.1%増)となり、30期連続増収、過去最高を更新しました。

利益面におきましては新店30店舗の開業費用、人件費や減価償却等の増加に加え、株式会社エコノスの株式公開買付関連費用83百万円の特異要因の影響により、販売費及び一般管理費は18.3%増となりました。以上の結果、営業利益は3,387百万円(前年比5.3%増)、経常利益は3,489百万円(前年比2.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は2,519百万円(前年比8.9%増)となり、何れも過去最高を更新しました。

## ①リユース事業

当事業におきましては、売上高は37,265百万円(前期比17.6%増)となりました。

## ②FC事業

当事業におきましては、商品・加盟料・ロイヤリティ収入等の売上高は1,932百万円(前期比6.4%増)となりました。

## （2）当期の財政状態の概況

### （資産）

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べて3,072百万円の増加の16,990百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の増加298百万円、売掛金の増加344百万円および、商品の増加2,229百万円によるものであります。

固定資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,910百万円の増加の14,610百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の増加1,093百万円、無形固定資産の増加899百万円および、投資その他の資産の増加917百万円によるものであります。

以上の結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて5,982百万円の増加の31,600百万円となりました。

### （負債）

流動負債合計は、前連結会計年度末に比べて2,930百万円の増加の8,970百万円となりました。この主な要因は、短期借入金の増加2,140百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加286百万円および、未払費用の増加314百万円によるものであります。

固定負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,095百万円の増加の2,299百万円となりました。この主な要因は、長期借入金の増加484百万円、リース債務の増加224百万円および、資産除去債務の増加286百万円によるものであります。

以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて4,025百万円の増加の11,270百万円となりました。

### （純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,956百万円の増加の20,330百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加1,435百万円およびその他有価証券評価差額金の増加448百万円によるものであります。

## （3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度に比べ298百万円増加し、3,307百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは2,465百万円の収入（前期は2,142百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益3,522百万円によるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは2,710百万円の支出（前期は1,836百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1,274百万円、無形固定資産の取得による支出233百万円によるものであります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の財務活動によるキャッシュ・フローは521百万円の収入（前期は334百万円の支出）となりました。これは主に短期借入金の増加1,890百万円、配当金の支払1,083百万円および長期借入金の返済による支出158百万円によるものであります。

## （4）今後の見通し

当社は、以下の長期ビジョンを掲げております。

「理念経営に磨きをかけ、誰にも真似できない唯一無二の存在になる。強いリアル店舗を中心とした“Re”NK CHANNEL（リンクチャネル\*）を作り上げ、日本国内でも、海外でも、圧倒的なリユースのリーディングカンパニーとして循環型社会の構築に貢献する。」

\* “Re” NK CHANNEL（リンクチャネル） リアル店舗とインターネットの様々なチャネルを融合させるハードオフ版のオムニチャネル戦略

また、2030年に向けた中期計画として「リアル店舗戦略」「出店戦略」「ネット戦略」「海外戦略」の4つの戦略によって事業拡大を図ります。

2027年3月期の出店につきましては、直営店は36店舗、F C加盟店は21店舗、計57店舗の純増を予定しており、通期業績の見通しは、売上高45,700百万円（前期比16.4%増）、営業利益4,050百万円（前期比19.6%増）、経常利益

4,100百万円（前期比17.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益3,300百万円（前期比31.0%増）を見込んでおります。

#### （5）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

##### ① 利益配分に関する基本方針

当社は、「株主の皆様への利益還元」を重要な経営方針のひとつとして位置づけ、1株当たりの利益や自己資本利益率（ROE）、キャッシュ・フローを向上させ、企業価値を高めるための積極的な事業展開を推進することにより経営基盤や財務体質の強化をはかり、DOE（連結純資産配当率）6%程度を目安に、業績に裏付けされた安定的な配当を実施していく方針であります。

##### ② 当期の剰余金の配当

2026年3月期の期末配当金につきましては、当期の業績や内部留保等を総合的に勘案し、1株につき85円とさせていただきます。

##### ③ 次期の剰余金の配当

次期の剰余金の配当につきましては、配当方針を踏まえ、1株当たりの年間配当金を92円とさせていただく予定です。

#### 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,009,386	3,307,878
売掛金	1,380,112	1,724,999
商品	8,971,859	11,201,218
仕掛品	637	—
その他	558,857	757,279
貸倒引当金	△2,636	△1,109
流動資産合計	13,918,216	16,990,266
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,357,389	9,675,725
減価償却累計額	△5,582,951	△6,321,991
建物及び構築物 (純額)	2,774,438	3,353,734
土地	1,023,215	1,125,032
リース資産	1,980,674	2,695,051
減価償却累計額	△1,687,494	△2,295,696
リース資産 (純額)	293,179	399,354
建設仮勘定	32,727	39,819
その他	1,809,552	2,815,634
減価償却累計額	△1,123,682	△1,830,835
その他 (純額)	685,870	984,798
有形固定資産合計	4,809,431	5,902,740
無形固定資産		
ソフトウェア	614,988	593,409
のれん	160,782	1,062,971
その他	20,210	39,344
無形固定資産合計	795,981	1,695,725
投資その他の資産		
投資有価証券	3,639,795	4,218,361
繰延税金資産	235,667	160,647
敷金	1,567,200	1,915,179
その他	651,442	717,628
投資その他の資産合計	6,094,104	7,011,817
固定資産合計	11,699,518	14,610,283
資産合計	25,617,734	31,600,550

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	168,105	100,549
短期借入金	2,950,000	5,090,000
1年内返済予定の長期借入金	—	286,682
リース債務	96,328	124,811
未払法人税等	653,430	672,395
未払金	488,286	620,812
未払費用	1,264,332	1,578,548
契約負債	36,269	23,093
その他	383,269	473,964
流動負債合計	6,040,022	8,970,857
固定負債		
長期借入金	—	484,233
リース債務	137,421	361,839
資産除去債務	765,578	1,052,193
長期未払金	239,682	260,247
その他	61,918	141,133
固定負債合計	1,204,601	2,299,646
負債合計	7,244,624	11,270,504
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,676,275	1,676,275
資本剰余金	1,910,632	1,930,432
利益剰余金	13,132,286	14,567,475
自己株式	△30,278	△22,100
株主資本合計	16,688,915	18,152,082
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,541,082	1,989,442
為替換算調整勘定	40,334	75,166
その他の包括利益累計額合計	1,581,417	2,064,609
非支配株主持分	102,777	113,354
純資産合計	18,373,110	20,330,045
負債純資産合計	25,617,734	31,600,550

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	33,531,023	39,276,974
売上原価	10,534,041	12,486,748
売上総利益	22,996,981	26,790,226
販売費及び一般管理費	19,778,765	23,402,927
営業利益	3,218,216	3,387,298
営業外収益		
受取配当金	74,200	75,957
受取地代家賃	51,071	14,166
為替差益	11,317	12,838
リサイクル収入	29,120	22,355
助成金収入	10,424	10,573
その他	39,849	36,421
営業外収益合計	215,983	172,313
営業外費用		
支払利息	17,633	63,724
賃貸借契約解約損	6,457	—
その他	6,947	5,947
営業外費用合計	31,038	69,671
経常利益	3,403,162	3,489,940
特別利益		
固定資産売却益	—	220
段階取得に係る差益	—	176,353
特別利益合計	—	176,573
特別損失		
固定資産除却損	1,967	363
減損損失	163,808	142,207
投資有価証券評価損	4,458	973
特別損失合計	170,234	143,544
税金等調整前当期純利益	3,232,927	3,522,969
法人税、住民税及び事業税	1,015,777	1,078,709
法人税等調整額	△102,958	△82,172
法人税等合計	912,818	996,536
当期純利益	2,320,108	2,526,433
非支配株主に帰属する当期純利益	6,078	7,322
親会社株主に帰属する当期純利益	2,314,029	2,519,110

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	2,320,108	2,526,433
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	104,766	471,832
為替換算調整勘定	8,206	38,909
その他の包括利益合計	112,972	510,742
包括利益	2,433,080	3,037,175
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,422,790	3,025,774
非支配株主に係る包括利益	10,289	11,401

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,676,275	1,910,632	11,874,435	△29,348	15,431,994
当期変動額					
剰余金の配当			△1,056,179		△1,056,179
親会社株主に帰属する当期純利益			2,314,029		2,314,029
自己株式の取得				△929	△929
自己株式の処分					
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					—
当期変動額合計	—	—	1,257,850	△929	1,256,920
当期末残高	1,676,275	1,910,632	13,132,286	△30,278	16,688,915

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,436,316	36,339	1,472,656	95,178	16,999,829
当期変動額					
剰余金の配当					△1,056,179
親会社株主に帰属する当期純利益					2,314,029
自己株式の取得					△929
自己株式の処分					
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	104,766	3,994	108,761	7,598	116,359
当期変動額合計	104,766	3,994	108,761	7,598	1,373,280
当期末残高	1,541,082	40,334	1,581,417	102,777	18,373,110

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,676,275	1,910,632	13,132,286	△30,278	16,688,915
当期変動額					
剰余金の配当			△1,083,922		△1,083,922
親会社株主に帰属する当期純利益			2,519,110		2,519,110
自己株式の取得				△1,002	△1,002
自己株式の処分		19,800		9,180	28,980
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					—
当期変動額合計	—	19,800	1,435,188	8,178	1,463,166
当期末残高	1,676,275	1,930,432	14,567,475	△22,100	18,152,082

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,541,082	40,334	1,581,417	102,777	18,373,110
当期変動額					
剰余金の配当					△1,083,922
親会社株主に帰属する当期純利益					2,519,110
自己株式の取得					△1,002
自己株式の処分					28,980
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	448,360	34,831	483,191	10,576	493,768
当期変動額合計	448,360	34,831	483,191	10,576	1,956,935
当期末残高	1,989,442	75,166	2,064,609	113,354	20,330,045

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	3,232,927	3,522,969
減価償却費	855,599	1,042,180
のれん償却額	10,487	73,467
減損損失	163,808	142,207
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△8,239	△1,527
受取利息及び受取配当金	△78,015	△81,825
支払利息	17,633	63,724
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	4,458	973
段階取得に係る差損益 (△は益)	—	△176,353
売上債権の増減額 (△は増加)	△135,108	△147,341
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,171,789	△1,043,085
仕入債務の増減額 (△は減少)	126,809	△79,288
前払費用の増減額 (△は増加)	△20,110	△116,151
未払消費税等の増減額 (△は減少)	14,567	13,994
未払金の増減額 (△は減少)	△32,671	52,662
未払費用の増減額 (△は減少)	42,057	229,702
その他	9,032	27,523
小計	3,031,447	3,523,833
利息及び配当金の受取額	76,297	79,992
利息の支払額	△17,633	△63,724
法人税等の支払額	△947,702	△1,074,340
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,142,409	2,465,760
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,216,285	△1,274,487
無形固定資産の取得による支出	△269,714	△233,157
事業譲受による支出	△274,728	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,112,067
差入保証金の差入による支出	△20,793	△28,266
敷金の差入による支出	△80,903	△86,463
敷金の回収による収入	51,909	25,742
その他	△26,067	△2,276
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,836,583	△2,710,975

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	830,000	1,890,000
長期借入金の返済による支出	—	△158,959
自己株式の取得による支出	△929	△55
リース債務の返済による支出	△105,351	△125,085
配当金の支払額	△1,055,387	△1,083,652
非支配株主への配当金の支払額	△2,737	△824
財務活動によるキャッシュ・フロー	△334,406	521,423
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,571	22,283
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△15,009	298,491
現金及び現金同等物の期首残高	3,024,396	3,009,386
現金及び現金同等物の期末残高	3,009,386	3,307,878

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更に関する注記)

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「前払費用の増減額(△は増加)」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書の組み替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動のキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた△11百万円は、「前払費用の増減額(△は増加)」△20百万円、「その他」9百万円として組み替えております

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社および子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主にリユース品の買い取り・販売を行っており、事業形態から「リユース事業」および「FC事業」として事業活動を展開しているため、この2つを報告セグメントとしております。

「リユース事業」はリユースショップ「ハードオフ」「オフハウス」「モードオフ」「ガレージオフ」「ホビーオフ」「リカーオフ」「ブックオフ（フランチャイジー）」の運営事業であり、「FC事業」はリユースショップ「ハードオフ」「オフハウス」「モードオフ」「ガレージオフ」「ホビーオフ」「リカーオフ」のフランチャイズ・チェーン事業であります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部取引は市場実勢価格にもとづいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	リユース事業	F C 事業	合計				
売上高							
外部顧客への 売上高	31,687,799	1,815,518	33,503,317	27,705	33,531,023	—	33,531,023
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	462,313	462,313	330,348	792,662	△792,662	—
計	31,687,799	2,277,831	33,965,631	358,054	34,323,685	△792,662	33,531,023
セグメント 利益	5,055,045	1,294,503	6,349,548	37,560	6,387,109	△3,168,892	3,218,216
セグメント 資産	17,538,487	437,887	17,976,374	34,543	18,010,917	7,606,816	25,617,734
その他の項目							
減価償却費	795,160	52,121	847,281	156	847,438	8,161	855,599
のれん償却額	10,487	—	10,487	—	10,487	—	10,487
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	1,824,215	53,427	1,877,642	—	1,877,642	4,554	1,882,197

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業を含んでおります。

2 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△3,168,892千円は、セグメント間取引消去△56,220千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,112,672千円であります。

(2) セグメント資産の調整額7,606,816千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

(3) セグメント間の内部売上高又は振替高について、区分して掲記しております。

3 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	リユース事業	FC事業	合計				
売上高							
外部顧客への 売上高	37,265,449	1,932,305	39,197,754	79,219	39,276,974	—	39,276,974
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	429,391	429,391	367,470	796,862	△796,862	—
計	37,265,449	2,361,696	39,627,146	446,690	40,073,837	△796,862	39,276,974
セグメント 利益	5,679,314	1,310,855	6,990,169	7,471	6,997,640	△3,610,341	3,387,298
セグメント 資産	22,415,533	441,533	22,857,067	47,286	22,904,354	8,696,195	31,600,550
その他の項目							
減価償却費	977,114	45,783	1,022,898	713	1,023,611	18,568	1,042,180
のれん償却額	73,467	—	73,467	—	73,467	—	73,467
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	3,980,942	37,756	4,018,699	—	4,018,699	30,033	4,048,732

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業を含んでおります。

2 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△3,610,341千円は、セグメント間取引消去△79,744千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,530,597千円であります。

(2) セグメント資産の調整額8,696,195千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

(3) セグメント間の内部売上高又は振替高について、区分して掲記しております。

3 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 製品およびサービスごとの情報

当社グループは、リユース品の買い取りおよび販売を行っており、単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

1. 製品およびサービスごとの情報

当社グループは、リユース品の買い取りおよび販売を行っており、単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	リユース事業	F C 事業	合計	全社・消去	連結財務諸表計上額
減損損失	163,808	—	163,808	—	163,808

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	リユース事業	F C 事業	合計	全社・消去	連結財務諸表計上額
減損損失	142,207	—	142,207	—	142,207

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	リユース事業	F C 事業	合計	全社・消去	連結財務諸表計上額
当期償却額	10,487	—	10,487	—	10,487
当期末残高	160,782	—	160,782	—	160,782

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	リユース事業	F C 事業	合計	全社・消去	連結財務諸表計上額
当期償却額	73,467	—	73,467	—	73,467
当期末残高	1,062,971	—	1,062,971	—	1,062,971

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	1,314.75円	1,453.07円
1株当たり当期純利益	166.52円	181.19円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額	18,373,110千円	20,330,045千円
純資産の部の合計額から控除する金額	102,777千円	113,354千円
(うち非支配株主持分)	(102,777千円)	(113,354千円)
普通株式に係る期末の純資産額	18,270,332千円	20,216,691千円
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数	13,896千株	13,913千株

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益	2,314,029千円	2,519,110千円
普通株主に帰属しない金額	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益	2,314,029千円	2,519,110千円
期中平均株式数	13,896千株	13,903千株

(当連結累計期間における連結範囲の重要な変更に関する注記)

前連結会計年度まで連結子会社でありました株式会社ハードオフファミリーは、2025年4月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

株式会社エコノスの株式取得により当第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

## (企業結合等関係に関する注記)

## 取得による企業結合

## 1. 企業結合の概要

## (1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：株式会社エコノス

事業の内容：リユース品の買取・販売

## (2) 企業結合を行った主な理由

リユース事業の拡大を推進することを目的として同社株式を取得し、当社の連結子会社といたしました。

## (3) 企業結合日

2025年10月2日

## (4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

## (5) 結合後企業の名称

変更はありません。

## (6) 取得した議決権比率

取得後の議決権比率：100.00%

## (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

## 2. 当連結会計年度に係る連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2025年10月1日から2026年3月31日まで

## 3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	企業結合日直前に保有していた株式の企業結合日における時価	293百万円
	企業結合日以降に取得した普通株式の取得価額(現金)	1,562百万円
取得原価		1,856百万円

## 4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬等 83百万円

## 5. 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## ①発生したのれん金額

968百万円

## ②発生原因

主として今後の事業展開から期待される将来の超過収益力によるものであります

## ③償却方法および償却期間

のれんは、定額法により均等償却し、15年を償却年数としております。

## 6. 企業結合日に受け入れる資産及び引き受ける負債の額並びにその主な内訳

流動資産	1,871百万円
固定資産	1,023百万円
資産合計	2,894百万円
流動負債	848百万円
固定負債	1,158百万円
負債合計	2,006百万円

（重要な後発事象）

（投資有価証券売却益の計上）

当社は、2026年2月10日開催の取締役会において、当社が保有する株式会社ワットマンの普通株式1,288,800株について、IAPF3株式会社が実施する公開買付け（以下「本公開買付け」という）に応募することを決議いたしました。

2026年4月2日に本公開買付け期間が終了し、2026年4月3日にIAPF3株式会社より買付け結果が公表され、当社の応募株式の全てが買付けられることとなりました。

これにより、2027年3月期第1四半期連結会計期間において、投資有価証券売却益1,160百万円を特別利益として計上いたします。